

**国際委員会 第25期 第3回 ISC 等分科会**  
**議事要旨**

1. 日 時：令和3年12月14日（火）14:00－16:00
2. 場 所：オンライン
3. 参加者：高村委員長、春山副委員長、中村幹事、浅間委員、白波瀬委員、新福委員、  
中野委員、村上委員  
(事務局) 寺内国際業務担当参事官、国際業務担当室員

議 題

(1) 前回（第2回）の議事要旨（案）の確認

異議なく了承された。

(2) ISC 総会について

2021年10月11～15日に開催された第二回ISC総会について高村委員長から報告があった。2022年から2024年まで（第二期）の財務担当副会長に選出された白波瀬委員より新役員体制に関する発言があった。事務局より、第二期のアクションプランについて説明した。

第二期のアクションプランについて、日本学術会議は、ISCの場をより積極的に活用し、日本がリードすべき分野、日本が単独では解決しない分野などのプロジェクトへ積極的に参加すべきであること、また、若手も含めた日本の科学者がグローバルな議論に参画し国際的にリード・貢献のできる場として積極活用すべきとの指摘があり、今後もISCの活動状況に注視し、機会を逃さないように、日本学術会議としての取り組み方について本分科会で議論することとした。

(3) IAPの活動について

2021年10月27～29日に開催されたIAPジョイント・ミーティング（三年に一回の総会開催年以外に開催、IAP-Health, Policy, Scienceの三団体の理事が集い、IAPの活動報告や今後の活動に関する議論を行う）について高村委員長から報告があった。同会議では、IAPの地域ネットワーク代表より、今年一年間の各地域での活動及び収支報告が行われたほか、IAP事務局関係者により、IAPの取り組むプロジェクトや声明についての活動、IAP構成三団体の統合後の新たな役員選出プロセス及び各委員会の業務内容、2022年11月開催のIAP総会（ハイブリット）の概要等について報告された。

続いて、今後の日本学術会議のIAPの活動への参画方法について、事務局より説明した。特に、IAP構成三団体の統合後の新たな役員選挙については、今後の動向を注視しつつ日本学術会議としての対応について、検討を進めることとした。

(4) その他

高村委員長より、主に以下の報告・提案があった。

① World Science Forum (WSF)運営委員会報告

2021年9月9日に開催されたWSF運営委員会について、運営委員である高村委員長より、2022年12月にWSFが開催されることが決定し、引き続き準備を進

めていくとのことであったとの報告があった。

② 委員追加について

ISC の次期会長（2022 年～2024 年）に選出された小谷元子連携会員に本分科会の委員としてご参加いただくことが高村委員長より提案され、異議なく了承された

以上